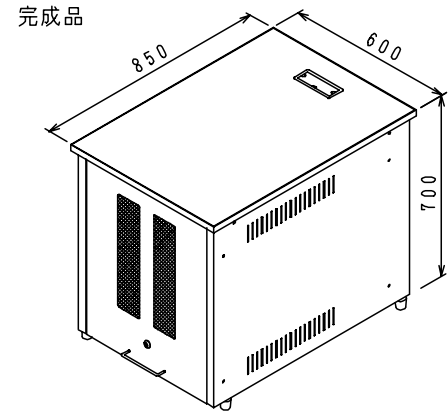


お買い上げありがとうございました
DSK-SV2K（サーバーデスク）を正しく組み立てていただくため、この組立説明書をよくお読みください。

組立説明書

DSK-SV2K

サーバーデスク



ご注意とお願い	
1	天板の上に乗らないでください。
2	お手入れの際は、シンナー・ベンジン・みがき粉などは、使わないでください。
3	耐荷重内での使用にとどめてください。 総耐荷重は100kgです。
4	
5	
6	

仕 様	
品 名	サーバーデスク
品 番	DSK-SV2K
外 形 寸 法	幅800×奥行850×高さ700
重 量	35kg

製品に関するお問い合わせは

製品の品質管理には、細心の注意をはらっていますが、万一不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買い求めの販売店又は下記までお気軽にご相談ください。

東京サンワサプライセンター 岡山サンワサプライセンター
〒110-8586 東京都品川区南大井 6-5-8 〒711-0025 岡山市田町1-11-1
TEL 03-5763-0011 FAX 03-5763-0033 TEL 086-223-3311 FAX 086-223-5123

組み立てる前に

- 用意していただくもの・・・手袋（鋼製品ですので組み立ての際は必ず着用してください。）プラスドライバー（キャスター固定時に必要です）
- 部品を確認してください。（この商品は（3-1）（3-2）（3-3）の3梱包になっています。）

3-1	3-2	3-3
テーブルトップ×1 	フレーム（左右）×2 手前側ユレ止め枠×1 奥側ユレ止め枠×1 金具が付いている	シャッター×1 バックパネル×1 スライドテーブル×1 レール（左右）×2 ケーブルフック×2
バックパネル蓋×4 	キャスター×4 アジャスター×4 	ボルトA (M6×12) ×12 ボルトB (M6×30) ×4 ボルトC (M4×8) ×16 六角レンチ×1 カギ×4（スベア2本） ボルト (M5) ×16 ナット (M5) ×16 連結用ボルトセット *通常では使用しません。 ボックスの連結方法は、別紙参照下さい。 ボルト (M6×12) ×2 ワッシャー×2 ナット (M6) ×2

組み立て方（手順1～3は表面に、手順4～9は裏面に記載しています。）

1 フレームにアジャスターを取り付けておきます。
ユレ止め枠をフレーム左右にボルトAで固定します。
ユレ止め枠は、3つ穴の空いた方が上になります。前後ユレ止め枠は、それぞれ下図に示す4つ穴の空いた方が外側に来ます。
上下前後が違うと取り付ける事が出来ません。

前部用ユレ止（金具無） 穴（4ヶ所）がある方が外向（前方） 	後部用ユレ止（金具付） 穴（4ヶ所）がある方が外向（後方）
--------------------------------------	--------------------------------------

ローラーが前
3つ穴が上
ボルトA
アジャスターを取付ます（4ヶ所）
（前）

2 次に、レールをボルトAで取り付けます。
フレームにある切込みに、レールの前方が、来るようにします。
（レールには左右が有ります。）

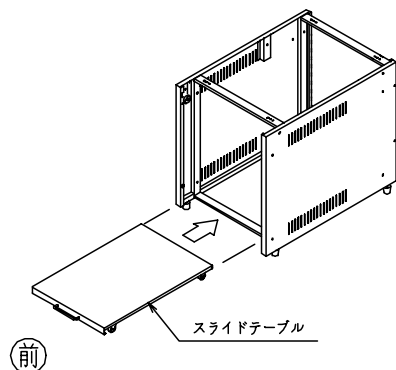
（前）
切込みに合せます。
ローラー

3 次に、スライダーにキャスターをボルトCで取り付けます。
下図のように、プラスドライバーで固定して下さい。

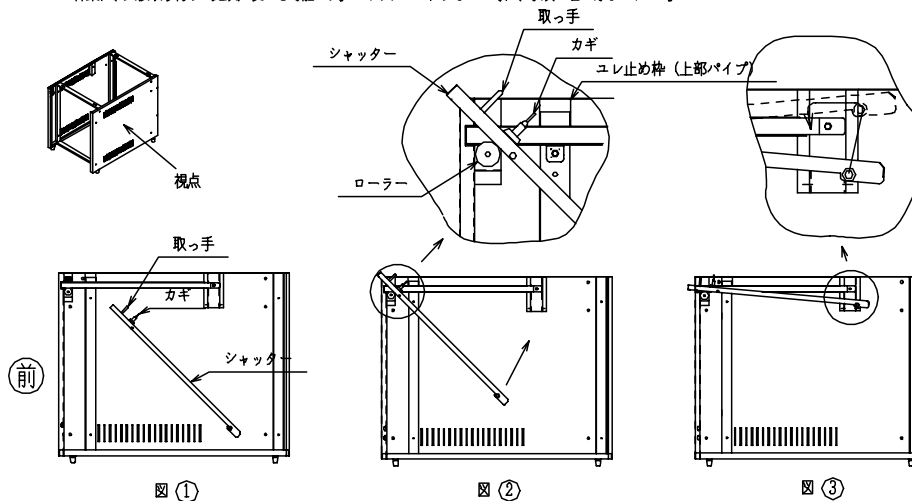
ボルトC
（前）

手順4～9は裏面に記載しています。→

- 4 スライドテーブルを取り付けます。
スライドテーブルは、取手が前方に来るように、フレームの間に
入れます。

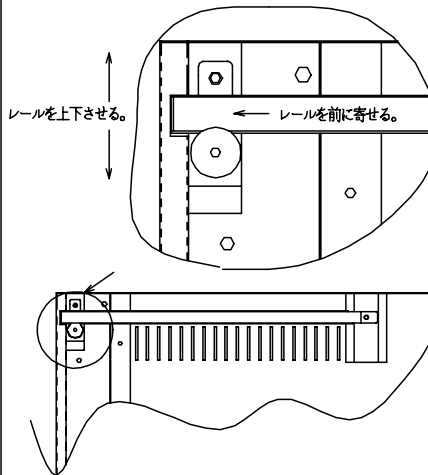


- 5 シャッターの取り付けをします。取付の際は、同封のカギを取付てカギが働いた状態で行います。
まず図①のように内側にシャッター全体を入れます。
この時、取っ手のある方を前方上にして下さい。
次に、シャッターを図②のように前方を上げて、ローラーに乗るようにします。
この時、シャッターは、45°くらいに傾けて、カギ部分が上部パイプの下をくぐるようにして下さい。
最後に、シャッターの後方を持ち上げて、図③のように、シャッター後方のローラーが、レールの上に（点線のように）来るようにして
レールの後方上部の切込みから、ローラーを入れます。これで、シャッターの取り付け完了です。
*この作業は、天板取り付け（完成）後でも可能です。シャッターをはずしたい時は、手順を逆にやって下さい。

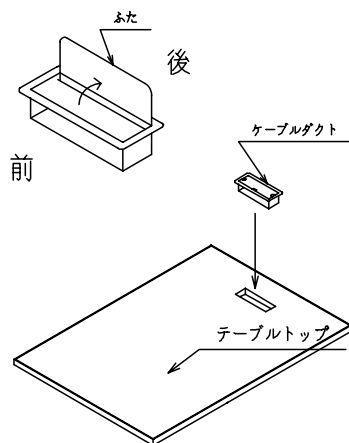


- 6 シャッターの調節方法
シャッターを閉めた時に、フレームと干渉したり、閉まり難い時は
レールのネジを少しゆるめてレールの調節を行って下さい。
調節方法は下図を参照下さい。
調節後は、必ずネジをしっかりと締めて下さい。
*この調節は、微調節ですのでレールは大きくは動きません。

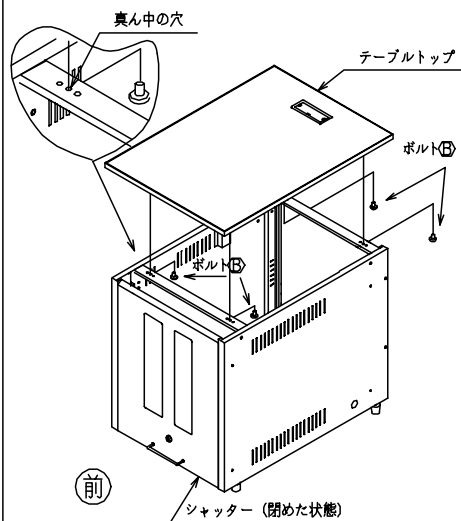
フレームと干渉する時は、左右フレームのレールを上下させて下さい。
閉まり具合が悪い時は、レールを前に寄せて下さい。



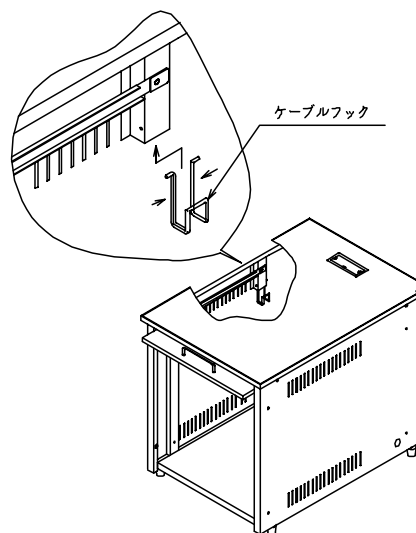
- 7 ケーブルダクトを取り付けます。
下図のようにふたが開く方を前にしてケーブルダクトを
取付て下さい。



- 8 テーブルトップをボルト⑤で取り付けます。
この作業は、シャッターを下ろした状態で行って下さい。
（上げた状態ではできません）
ネジを締める時は、後方から手を入れて締めて下さい。
テーブルトップは、コードダクトの付いている方が、後方になります。



- 9 ケーブルフックを取り付けます。
ケーブルフックを指ではさんで、下図のように穴にはめ込みます。
フレームの左右両方に取り付けます。



- 10 最後にバックパネルに蓋をボルトナット（M5）取り付け後、
バックパネルを本体に取付けます。
バックパネルを本体に取付ける際、同封のカギを付けて下さい。
バックパネルの金具をデスクの方の金具にはめ込むように取付けます。
詳細は、下図を参考にして下さい。
カギを締めることと取り付け完成です。
これですべて組立が、完成です。

